



大宮西中学校は創立50周年を迎えます  
～つないできた 愛 これからもずっと～

# 藤花だより

令和6年度10月号  
令和6年9月27日  
さいたま市立大宮西中学校  
TEL048(624)4339  
<https://omiyaniishi-j.saitama-city.ed.jp>

## 「気は技を超える」

～粘り強く・あきらめない・やりぬく～

校長 森角 由希子

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、今年の夏は、暑さが続きとても長く感じられます。猛暑の中で行われたパリオリンピック、パラリンピックに続き、9月末から新人体育大会が始まります。

ともに、過去最高の金メダルを量産したパリオリンピック、パラリンピック大会でしたが、特に印象に残ったのは、選手たちの粘り強さと、ドラマティックな逆転劇です。スケートボードで金メダルをつかんだ堀米雄斗選手は、一発の技を競う「ベストトリック」で、最終の試技を迎え、7位のメダル圏外にとどまっていた。そこで挑んだのが、「ノーリーバックサイド270テールブラントスライド」という、これまで1度しか成功していない技。それまでも失敗し続けていましたが、土壇場での挑戦では着地が決まり、一気にトップへ。東京大会に続く二連覇を遂げました。

「少しの可能性、1%の可能性を最後まで信じた」と堀米選手は言いました。しかし、彼はただ信じたのではありません。決勝の他の選手の試合の合間も、何度もコンクリートにたたきつけられ、挑み、転び、最後までできる限りの調整を突き詰め、「1%の可能性」の光を見付けました。また、体操男子は、2種目目のあん馬で、エースの橋本大輝選手が落馬するなどして、中国に引き離されていきました。そのような苦しい空気の中で「諦めるな！」との声が…。萱（かや）和磨選手の声でした。最終種目の鉄棒を迎え、逆転はもはや不可能と思われても、萱選手は「諦めるな！」と仲間を励まし続けていました。すると、相手の思いがけないミスにより、逆転し、最後の橋本選手が逃げ切りました。わずか0.532点差でした。相手のミスもありましたが、一つ一つ丁寧にやりぬいた技の連続が、積み重なったほんのわずかな差の勝利へとつながりました。

その一方で、水泳の池江璃花子選手の予選落ち、男子バレーボールイタリア戦の信じられない逆転負け、男子バスケットボールの終了間際のファウルの笛。どんなに努力を積み重ねても、本当に思いどおりにいかない種目も、ありました。生徒の皆さんは、場こそ違いますが、「新人戦」という、必ずしも努力が報われるとは限らない、自分の思いどおりにいかない場へ挑むこととなります。

「気は技を超える」という言葉があります。「気」は気持ちの「気」、「技」は技術の「技」です。勝ちたい・成功させたい・自己ベストを出したい、という強い気持ちが最高点を超えたとき、プレーや技、体力の限界を超える力が発揮されることがあります。そのためには、日頃から粘り強く、最後まであきらめずに粘り強く自分がやれることを一身にやり抜くことです。自分の限界を超え、その先にある新たな強い自分に出会える大会となるように、皆さんの健闘を祈ります。

### 第106回全校高等学校野球選手権大会選手宣誓

「努力したとしても報われるとは限らない。しかし、努力しなければ報われることはない。」  
「報われないからと言って努力しない理由にはならない。」